

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限（設定日：2023年9月22日）	
運用方針	SBI・i シェアーズ・インド株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、インドの株式市場を代表する株価指数であるBSE SENSEXインデックス（配当込み、円換算ベース）の値動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	SBI・i シェアーズ・インド株式インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンド（ベビーファンド）	投資信託証券（マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
	マザーファンド	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	年1回（毎年9月18日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価損益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。収益分配にあてなかった留保益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

# 運用報告書（全体版）

## 第1期

（決算日：2024年9月18日）

# SBI・i シェアーズ・インド株式 インデックス・ファンド （愛称：サクっとインド株式）

追加型投信／海外／株式／インデックス型

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「SBI・i シェアーズ・インド株式インデックス・ファンド（愛称：サクっとインド株式）」は、2024年9月18日に第1期決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

## SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9:00~17:00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。  
<https://www.sbiasset.co.jp/>

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		投資信託証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		期中 騰落率		
(設定日) 2023年9月22日	円 10,000	円 —	% —	10,000	% —	% —	百万円 5,075
1期(2024年9月18日)	11,236	0	12.4	12,095	21.0	98.7	66,040

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券比率」は実質比率を記載しております。

(注4) ベンチマークはBSE SENSEXインデックス(配当込み)を委託会社にて円換算しています。

(注5) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注6) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		投資信託証券 組入比率
		騰落率		騰落率	
(設定日) 2023年9月22日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —
9月末	9,956	△ 0.4	9,964	△ 0.4	100.8
10月末	9,671	△ 3.3	9,752	△ 2.5	100.7
11月末	9,880	△ 1.2	10,010	0.1	99.6
12月末	10,277	2.8	10,467	4.7	100.6
2024年1月末	10,573	5.7	10,709	7.1	99.9
2月末	10,835	8.4	11,152	11.5	99.8
3月末	11,048	10.5	11,351	13.5	99.2
4月末	11,472	14.7	11,915	19.1	99.0
5月末	11,465	14.7	11,835	18.4	99.3
6月末	12,423	24.2	13,086	30.9	99.3
7月末	11,906	19.1	12,544	25.4	99.1
8月末	11,363	13.6	12,243	22.4	98.8
(期末) 2024年9月18日	11,236	12.4	12,095	21.0	98.7

(注1) 騰落率は設定日比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券比率」は実質比率を記載しております。

(注3) ベンチマークはBSE SENSEXインデックス(配当込み)を委託会社にて円換算しています。

(注4) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注5) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

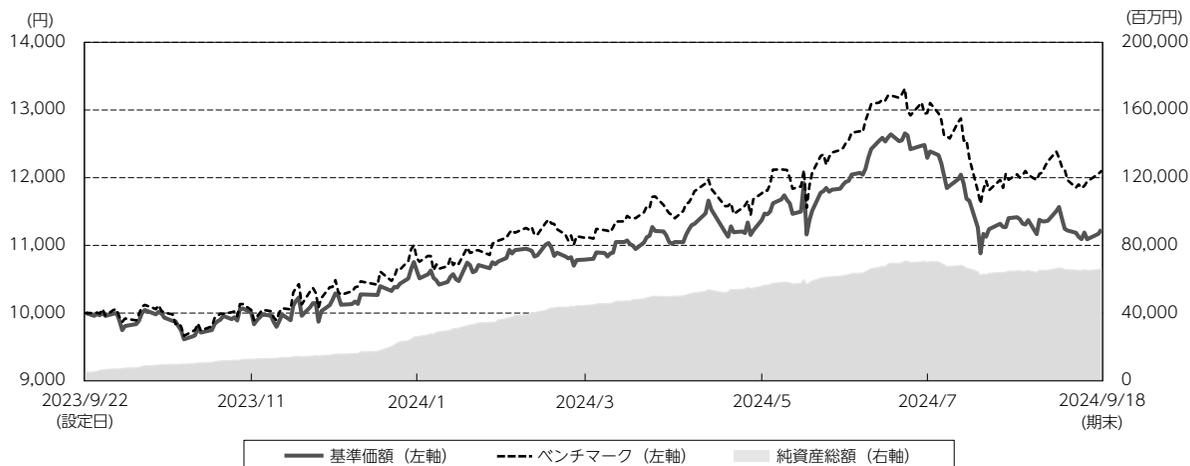
ベンチマーク：BSE SENSEXインデックス(配当込み)(円換算ベース)

BSE SENSEXインデックスとは、ボンベイ証券取引所(BSE)に上場する銘柄のうち、流動性、取引規模、業種などを代表する30銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。

なお、BSE SENSEXインデックス(配当込み、円換算ベース)は、BSE SENSEXインデックス(配当込み)をもとに、委託会社が円換算したものです。

## ■当期の運用状況と今後の運用方針（2023年9月22日から2024年9月18日まで）

### ○基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：11,236円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 12.4%

(注1) ベンチマークは、BSE SENSEXインデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。詳細はP1をご参照ください。

(注2) ベンチマークは、設定日（2023年9月22日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

(注4) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

### ○基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

- ・インド経済の安定成長への期待や、地政学的リスクが比較的低いとの見方から、インド株式への海外資金の流入傾向が続いたこと。

#### 下落要因

- ・2024年7月以降米利下げ期待が強まり、9月に実際に利下げが実施されたことなどから、米ドル安/円高が進み、インド・ルピーもルピー安/円高傾向となったこと。

## ○投資環境

---

### <インド株式市場>

当期、インド株式市場は上昇いたしました。背景としては、人口動態、政治的安定などから安定した経済成長が期待できること、地政学的リスクが相対的に小さいこと、原油価格が比較的低位安定して推移したこと、インフレが抑えられ政策金利が据え置かれたこと、などの好材料が挙げられます。設定当初は、米金利高止まり懸念や中東情勢の緊迫化により下落しましたが、2023年11月からは外国人投資家の買いが回復し上昇に転じました。消費者物価指数（CPI）の減速や原油価格の低下もプラス材料となりました。2024年2月にかけて発表された10-12月決算は概ね事前予想通りとなりました。3、4月は大手銀行の好調な決算、ソフトウェア関連企業の業績懸念などが注目材料となりました。5月実施の注目の総選挙の結果はモディ首相率いる与党インド人民党（BJP）は単独過半数割れとなりましたが、与党連合国民民主同盟（NDA）は過半数の議席を維持しました。一時的に政権運営への悪影響が懸念されましたが、結局、引き続き安定的な経済成長が期待できるとの見方が主流となりました。また、米国での景気減速懸念が後退したことからソフトウェア関連企業が上昇しました。さらに世界的な株式指数の構成銘柄へのインド企業の採用増加見通しも好感されました。期末にかけて、農業生産をとおり地方経済やインフレ率に影響するモンスーン期の降雨が順調であるとの見方も好材料となり株価が上昇しました。

### <外国為替市場>

当期、インド・ルピー／米ドルレートは、米国の利下げ観測継続と米ドル安傾向を背景に比較的安定して推移しました（1ドル82.7ルピーから84ルピーのレンジ）。2024年1月、2月にかけても、原油安もあり、ルピー高傾向となりました。3月以降米国の利下げ観測が景気指標・インフレ指標を見ながら強まったり弱まったりするなか、原油価格の上昇などからルピー安傾向となりました。7月以降株式投資キャピタルゲイン課税の強化などからルピー安傾向が強まったと見られます。その後、1ドル84ルピー近辺で推移した後、米利下げ期待、同利下げを受けて83.5ルピー台で引けました。

対円では、1ルピー1.66円程度から1.93円程度のレンジで推移しました。高値は7月10日ごろ、安値は9月半ばごろ付けました。概ね米ドル／円レートに連動いたしました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### <当ファンド>

主要投資対象であるSBI・iシェアーズ・インド株式インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

### <SBI・iシェアーズ・インド株式インデックス・マザーファンド>

別に定めるETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、インドの株式市場を代表する株価指数であるBSE SENSEXインデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ブラックロック・アセット・マネジメント・ノース・アジア・リミテッドが運用を行う「iシェアーズ・コア SENSEXインディアETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は98.7%となっております。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

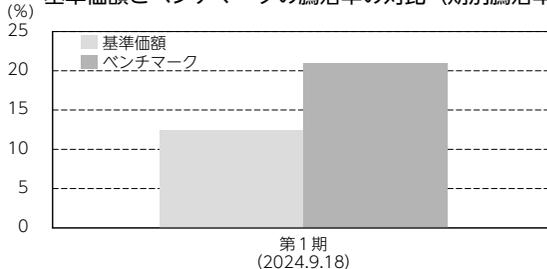
期中における基準価額は、12.4%の上昇となり、ベンチマークである「BSE SENSEXインデックス（配当込み、円換算ベース）」の騰落率である+21.0%を概ね8.6%下回りましたが、個別には以下のようなプラス要因、マイナス要因があります。

（マイナス要因がプラス要因を上回りました。）

主なプラス要因：ファンドとベンチマークにおいて適用される配当税率の差異

主なマイナス要因：ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジション、インド株式の売却に対するキャピタルゲイン課税等

基準価額とベンチマークの騰落率の対比（期別騰落率）



（注）ベンチマークはBSE SENSEXインデックス（配当込み、円換算ベース）です。詳細はP1をご参照ください。

## ○分配金

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第1期
	2023年9月22日～ 2024年9月18日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,235

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

### <当ファンド>

引き続き、主要投資対象である『SBI・iシェアーズ・インド株式インデックス・マザーファンド』を高位に組入れます。

### <SBI・iシェアーズ・インド株式インデックス・マザーファンド>

引き続き、「iシェアーズ・コア SENSEXインディアETF」を主要投資対象とし、インドの株式市場を代表する株価指数であるBSE SENSEXインデックス(配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行う方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 9 月22日～2024年 9 月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 )  ( 受 託 会 社 )	円 7 ( 3 ) ( 3 )  ( 2 )	% 0.063 (0.024) (0.024)  (0.015)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に 支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に 関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )  ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 )	3 ( 3 )  ( 0 ) ( 0 )	0.030 (0.024)  (0.002) (0.004)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	10	0.093	
期中の平均基準価額は、10,905円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

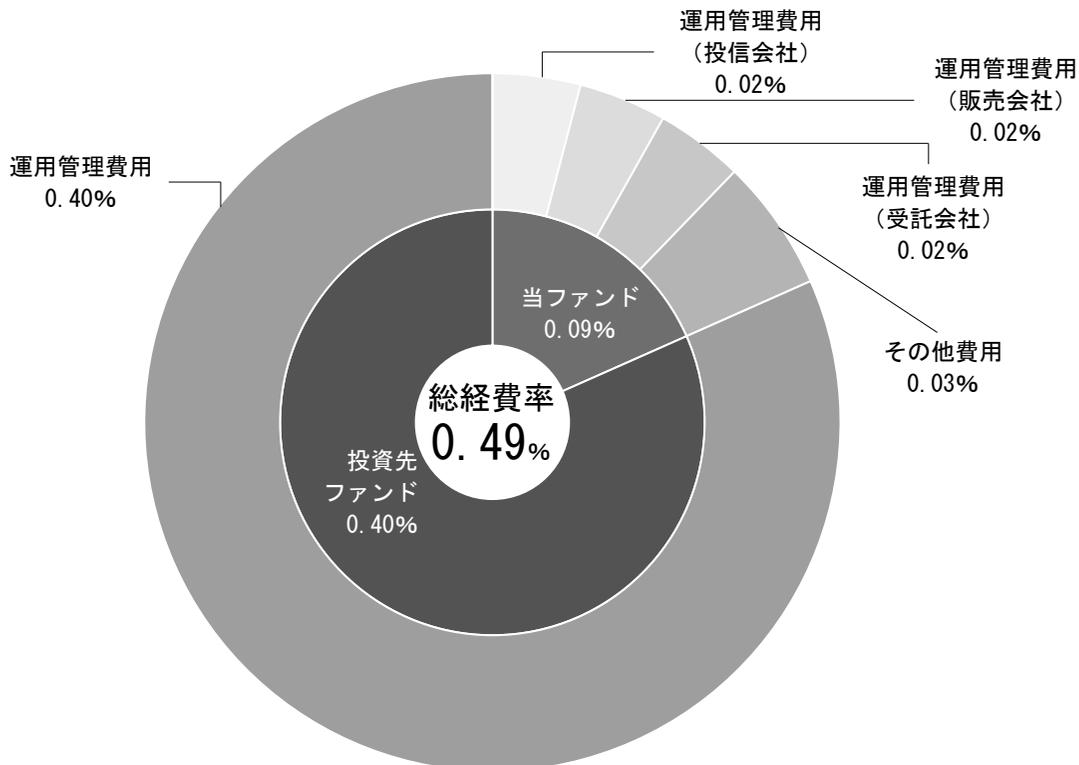
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率(年率)**は**0.49%**です。



総経費率 (①+②)	0.49%
①当ファンドの費用の比率	0.09%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.40%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年9月22日～2024年9月18日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
SBI・iシェアーズ・インド株式インデックス・マザーファンド	72,096,015	77,951,120	13,338,953	14,816,060

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年9月22日～2024年9月18日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2024年9月18日現在)

### 親投資信託残高

銘柄名	当期末	
	口数	評価額
	千口	千円
SBI・iシェアーズ・インド株式インデックス・マザーファンド	58,757,061	66,060,564

(注) 単位未満は切捨て。

マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2024年9月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
SBI・iシェアーズ・インド株式インデックス・マザーファンド	66,060,564	99.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	85,270	0.1
投 資 信 託 財 産 総 額	66,145,834	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) SBI・iシェアーズ・インド株式インデックス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(66,167,458千円)の投資信託財産総額(67,126,727千円)に対する比率は98.6%です。

(注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、9月18日における円換算レートは、1ドル=141.62円です。

## ○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年9月18日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	66,145,834,410円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	19,647
SBI・iシェアーズ・インド株式インデックス・マザーファンド(評価額)	66,060,564,763
未 収 入 金	85,250,000
(B)負 債	105,328,744
未 払 解 約 金	85,232,121
未 払 信 託 報 酬	18,845,593
そ の 他 未 払 費 用	1,251,030
(C)純 資 産 総 額(A - B)	66,040,505,666
元 本	58,778,301,582
次 期 繰 越 損 益 金	7,262,204,084
(D)受 益 権 総 口 数	58,778,301,582口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,236円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>

(貸借対照表関係)

期首元本額	5,075,501,101円
期中追加設定元本額	67,045,896,600円
期中一部解約元本額	13,343,096,119円

## ○損益の状況 (2023年9月22日~2024年9月18日)

項 目	当 期
(A)有 価 証 券 売 買 損 益	2,107,845,798円
売 買 益	2,980,555,406
売 買 損	△ 872,709,608
(B)信 託 報 酬 等	△ 27,552,273
(C)当 期 損 益 金 ( A + B )	2,080,293,525
(D)追 加 信 託 差 損 益 金 ( 売 買 損 益 相 当 額 )	5,181,910,559 ( 5,181,910,559)
(E) 計 ( C + D )	7,262,204,084
(F)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 ( E + F )	7,262,204,084
追 加 信 託 差 損 益 金 ( 配 当 等 相 当 額 )	5,181,910,559 (△ 35,560)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 5,181,946,119)
分 配 準 備 積 立 金	2,080,293,525

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(207,427円)、費用控除後の有価証券等損益額(2,080,086,098円)、および信託約款に規定する収益調整金(5,181,946,119円)より分配対象収益は7,262,239,644円(10,000口当たり7,262.39円)ですが、当期に分配した金額はありません。

BSE SENSEXインデックスは、BSE Limited（「BSE」）の完全子会社であるAsia Index Private Limited（「AIPL」）の商品です。BSE®とSENSEX®はBSEの登録商標であり、これらの商標の使用ライセンスはAIPLに付与され、SBIアセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。本ファンドは、BSE、AIPLによって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

# 第 1 期 運用報告書

(決算日 2024年 9 月18日)

## SBI・iシェアーズ・インド株式インデックス・マザーファンド

### 受益者のみなさまへ

SBI・iシェアーズ・インド株式インデックス・マザーファンドの第1期（2023年9月22日から2024年9月18日まで）の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは、次の通りです。

運用方針	BSE SENSEX インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行います。
主要投資対象	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 デリバティブの直接利用は行いません。 外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		投資信託証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	期中 騰落率		期中 騰落率		
(設定日) 2023年9月22日	円 10,000	% —		% —	% —	百万円 5,075
1期(2024年9月18日)	11,243	12.4	12,095	21.0	98.7	67,038

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。

(注3) ベンチマークはBSE SENSEXインデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。

(注4) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		投資信託証券 組入比率
		騰落率		騰落率	
(設定日) 2023年9月22日	円 10,000	% —		% —	% —
9月末	9,956	△ 0.4	9,964	△ 0.4	100.8
10月末	9,672	△ 3.3	9,752	△ 2.5	100.7
11月末	9,881	△ 1.2	10,010	0.1	99.6
12月末	10,279	2.8	10,467	4.7	100.6
2024年1月末	10,575	5.8	10,709	7.1	99.9
2月末	10,838	8.4	11,152	11.5	99.8
3月末	11,052	10.5	11,351	13.5	99.2
4月末	11,476	14.8	11,915	19.1	99.0
5月末	11,470	14.7	11,835	18.4	99.2
6月末	12,429	24.3	13,086	30.9	99.3
7月末	11,913	19.1	12,544	25.4	99.1
8月末	11,370	13.7	12,243	22.4	98.8
(期末) 2024年9月18日	11,243	12.4	12,095	21.0	98.7

(注1) 騰落率は設定日比です。

(注2) ベンチマークはBSE SENSEXインデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。

(注3) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

ベンチマーク：BSE SENSEXインデックス

BSE SENSEXインデックスとは、ボンベイ証券取引所（BSE）に上場する銘柄のうち、流動性、取引規模、業種などを代表する30銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。なお、BSE SENSEXインデックス（配当込み、円換算ベース）は、BSE SENSEXインデックス（配当込み）をもとに、委託会社が円換算したものです。

## ■ 当期の運用状況と今後の運用方針（2023年9月22日から2024年9月18日まで）

### ○ 基準価額等の推移



当マザーファンドの基準価額は設定日10,000円から始まったあと、期末には11,243円となりました。期を通じて騰落率は+12.4%となりました。

	設定日	期中高値	期中安値	期末
日付	2023/9/22	2024/7/10	2023/10/27	2024/9/18
基準価額 (円)	10,000	12,662	9,613	11,243

## ○投資環境

---

### <インド株式市場>

当期、インド株式市場は上昇いたしました。背景としては、人口動態、政治的安定などから安定した経済成長が期待できること、地政学的リスクが相対的に小さいこと、原油価格が比較的低位安定して推移したことからインフレが抑えられ政策金利が据え置かれたこと、などの好材料が挙げられます。設定当初は、米金利高止まり懸念や中東情勢の緊迫化により下落しましたが、2023年11月からは外国人投資家の買いが回復し上昇に転じました。消費者物価指数（CPI）の減速や原油価格の低下もプラス材料となりました。2024年2月にかけて発表された10-12月決算は概ね事前予想通りとなりました。3、4月は大手銀行の好調な決算、ソフトウェア関連企業の業績懸念などが注目材料となりました。5月実施の注目の総選挙の結果はモディ首相率いる与党インド人民党（BJP）は単独過半数割れとなりましたが、与党連合国民民主同盟（NDA）は過半数の議席を維持しました。一時的に政権運営への悪影響が懸念されましたが、結局、引き続き安定的な経済成長が期待できるとの見方が主流になりました。また、米国での景気減速懸念が後退したことからソフトウェア関連企業が上昇しました。さらに世界的な株式指数の構成銘柄へのインド企業の採用増加見通しも好感されました。期末にかけて、農業生産をとおり地方経済やインフレ率に影響するモンスーン期の降雨が順調であるとの見方も好材料となり株価が上昇しました。

### <外国為替市場>

当期、インド・ルピー／米ドルレートは、米国の利下げ観測継続と米ドル安傾向を背景に比較的安定して推移しました（1ドル82.7ルピーから84ルピーのレンジ）。2024年1月、2月にかけても、原油安もあり、ルピー高傾向となりました。3月以降米国の利下げ観測が景気指標・インフレ指標を見ながら強まったり弱まったりするなか、原油価格の上昇などからルピー安傾向となりました。7月以降株式投資キャピタルゲイン課税の強化などからルピー安傾向が強まったと見られます。その後、1ドル84ルピー近辺で推移した後、米利下げ期待、同利下げを受けて83.5ルピー台で引けました。

対円では、1ルピー1.66円程度から1.93円程度のレンジで推移しました。高値は7月10日ごろ、安値は9月半ばごろ付けました。概ね米ドル／円レートに連動いたしました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

---

別に定めるETF（上場投資信託証券）への投資を通じて、インドの株式市場を代表する株価指数であるBSE SENSEXインデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ブラックロック・アセット・マネジメント・ノース・アジア・リミテッドが運用を行う「iシェアーズ・コア SENSEXインディアETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は98.7%となっております。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

---

期中における基準価額は、12.4%の上昇となり、ベンチマークである「BSE SENSEXインデックス（配当込み、円換算ベース）」の騰落率である+21.0%を概ね8.6%下回りましたが、個別には以下のようなプラス要因、マイナス要因があります。

（マイナス要因がプラス要因を上回りました。）

主なプラス要因：ファンドとベンチマークにおいて適用される配当税率の差異

主なマイナス要因：ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジション、インド株式の売却に対するキャピタルゲイン課税等

## ○今後の運用方針

---

引き続き、「iシェアーズ・コア SENSEXインディアETF」を主要投資対象とし、インドの株式市場を代表する株価指数であるBSE SENSEXインデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行う方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年9月22日～2024年9月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料	円 —	% —	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税	—	—	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用)	3 ( 3)	0.024 (0.024)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	3	0.024	
期中の平均基準価額は、10,909円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ○ 売買及び取引の状況

(2023年9月22日～2024年9月18日)

### 投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	口	千ドル	口	千ドル
	ISHARES CORE S&P BSE SEN-USD	86,846,396	427,007	1,275,617	6,584
	小 計	86,846,396	427,007	1,275,617	6,584

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年9月22日～2024年9月18日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2024年9月18日現在)

### 外国投資信託証券

銘柄名	当 期 末			
	口 数	評 価 額		比 率
		外貨建金額	円換算金額	
(アメリカ) ISHARES CORE S&P BSE SEN-USD	口 85,570,779	千ドル 467,216	千円 66,167,194	% 98.7
合 計	口 数 ・ 金 額 85,570,779	467,216	66,167,194	98.7
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	-	<98.7%>

(注1) 円換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2024年9月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 66,167,194	% 98.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	959,533	1.4
投 資 信 託 財 産 総 額	67,126,727	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(66,167,458千円)の投資信託財産総額(67,126,727千円)に対する比率は98.6%です。

(注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、9月18日における円換算レートは、1ドル=141.62円です。

## ○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年9月18日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	67,126,727,263円
コール・ローン等	959,530,251
投資信託受益証券(評価額)	66,167,194,122
未 収 利 息	2,890
(B)負 債	88,330,000
未 払 解 約 金	88,330,000
(C)純 資 産 総 額(A - B)	67,038,397,263
元 本	59,626,344,359
次 期 繰 越 損 益 金	7,412,052,904
(D)受 益 権 総 口 数	59,626,344,359口
1万口当たり基準価額(C / D)	11,243円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>

(貸借対照表関係)

期首元本額	5,075,490,000円
期中追加設定元本額	68,392,175,857円
期中一部解約元本額	13,841,321,498円
期末における元本の内訳	
S B I ・ i シェアーズ・インド株式インデックス・ファンド	58,757,061,962円
E X E - i グローバルサウス株式ファンド	869,282,397円

○損益の状況 (2023年9月22日～2024年9月18日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	175,563円
受 取 利 息	750,632
支 払 利 息	△ 575,069
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	3,038,269,510
売 買 益	6,666,615,044
売 買 損	△3,628,345,534
(C)そ の 他 費 用	△ 9,287,810
(D)当 期 損 益 金(A + B + C)	3,029,157,263
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	5,911,324,143
(F)解 約 差 損 益 金	△1,528,428,502
(G)計 (D + E + F)	7,412,052,904
次 期 繰 越 損 益 金(G)	7,412,052,904

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<ご参考>組入投資信託証券の概要

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
iシェアーズ・コア SENSEX インディアETF	インドの株式	BSE SENSEX インデックス (配当込み)	0.25%	ブラックロック・アセット・マネジ メント・ノース・アジア・リミテッド

組入上位10銘柄	比率
HDFC BANK LTD	14.0%
RELIANCE INDUSTRIES LTD	11.7%
ICICI BANK LTD	9.3%
INFOSYS LTD	6.2%
LARSEN AND TOUBRO LTD	4.6%
TATA CONSULTANCY SERVICES LTD	4.4%
ITC LTD	4.4%
BHARTI AIRTEL LTD	4.3%
STATE BANK OF INDIA	3.7%
AXIS BANK LTD	3.6%

組入上位10業種	比率
金融	37.7%
情報技術	13.3%
エネルギー	11.7%
一般消費財・サービス	8.0%
生活必需品	7.8%
資本財・サービス	5.8%
素材	5.5%
通信	4.3%
公益事業	3.7%
ヘルスケア	1.8%

出所：ブラックロック・アセット・マネジメント・ノース・アジア・リミテッドの資料を基にSBIアセットマネジメントが作成  
 (注) 2024年6月30日時点の比率です。

上記組入投資信託証券は第1期期末時点で取得可能なデータを記載しており、将来変更される場合があります。